

わくわく園庭日記

蒲幼稚園 No.6 R2, 9, 4

夏休み中も職員みんなで、園庭の環境整備にあたりました。1学期に遊んで平らになった土を盛り、再び土山を作成。三つの山の真ん中にスプリンクラーを置いて、楽しい遊び場ができました。暑い中、予想以上に硬く重たい土に苦戦しながらもみんなで作り上げた土山に駆け上る子どもの様子を思わず笑みがこぼれました。再生された土山で生き生きと遊ぶ様子をご覧ください。

頂上で

高いところはワクワクするもの。思わず駆け上ってしまう気持ち、よくわかりますよね。土山の頂上で水を浴びたり、遠くをめがけて水を発射したり！坂を流れる水の様子を観察するのも楽しいようです。どこまで流れていくのかな？

中腹で



手でしがみつき、足を踏んばって土山を登ります。中腹に穴を掘るには自分の体を支えなくてはなりません。上手にバランスをとる子どもの様子がみられます。

園庭に起伏を作ることは研修を始めたころに求めている環境の一つです。遊びながら自然と子どもたちの足腰が鍛えられます。

麓で



水が流れている様子さらに溝を掘っていきました。水が流れにくいところに向かって水鉄砲を発射させると余分な土が掘れ、勢いよく水が流れ出しました。それまで別の場所であそんでいた子が「修理は任せて」と遊びに加わってきました。

すぐに崩れない、なかなか水が引かないのは土のいいところ。土山から続く水路をどんどん伸ばしていきました。

2学期が始まりました。今年も残暑厳しい毎日が続いています。登園してきた子どもたちは園庭に出て、水遊び、泥遊び、砂遊びをダイナミックに楽しんでいます。水を欲する厳しい日差しですが、暦の上ではもう秋。セミに代わってトンボが飛び交い、アサガオやフウセンカズラ、オシロイバナ、クリトリアの種がたくさん実っています。2学期は夏から秋、そして冬へと季節の変化が見られます。そこで今学期は、遊びを通して季節の移り変わりを味わえるような環境を子どもたちと共に整えていけるよう進めていきたいと思っています。

他の場所ではこんな遊びを楽しんでいます。



化石発見！子どもたちが掘り出しているのは化石。いやいや、この暑さでひび割れた土のかけらです。ひび割れたその様子から子どもたちの想像が、どんどん広がっていったのでしょう。それを友だちと共有し、協力して楽しんでいました。

よりみちはらっぱでは、5月に移植した雑草が伸び、ものすごい草むらになりました。バッタやカマキリなどの生き物を見つけて大喜び！今年はほおずきも真っ赤に実り、笛作りに挑戦した子もいるようです。

こんな出来事も!!

インコの「ぶりん」ありがとう。そしてやってきた新しいお友だち。

長年子どもたちの心を和ませてくれたインコの「ぶりん」が8月15日天国へ旅立ちました。「きらら」と仲良く寄り添う様子は後、一羽になって寂しそうにしている「きらら」のもとに一羽のインコが飛んできました。「ぶりん」の生まれ変わり...?と思わせも、現在預かり中ですが、「きらら」と色とよく通る鳴き声が特徴です。今後子どもたちと一緒に名前を考えていきたいと思っています。

よく見てみると...

玄関先のヤマモモの木にゴミ？違う違う！よく見ると小鳥の巣が作られていました。布の繊維や髪作られていました。布の繊維や髪作る毛、そして子どもたちが制作に使うビニールテープなど、明らかに園内で集めた材料を使って作られたかわいい巣がそこにありました。しかも、中には孵化したばかりの小さな雛が3羽いて、園庭で遊ぶ子どもの様子を見計らってせつせとエサを与えにくる親鳥の姿も見られました。どうやらメジロの巣のようです。先週木曜日、緑色の羽毛が生えてきたと思っていたら、土曜日には元気に巣立っていました。



種をつまんだり、皮を剥いたり、指先を器用に使っています。細かい作業ですが長い時間集中して取り組む姿に感心します。高い所にできた種はどうやってとったらいいかな？近くにある物を使って、手が届くよう工夫していました。



マリーゴールドや色付いた木々の葉っぱをすりつぶして色水をつくっています。どんな色ができるかな？水に浸した葉っぱがキラキラと光って見えたことを「ダイヤモンド色に見える！」と表現していました。すりこぎやしょうごなどの扱人も手慣れたものです。



↑飛び立ってすぐのひな。ヤマモモ(雄)の木には、まだ巣は残っています。そっと覗いてみてください。